

## 第 36 回放射線による制癌シンポジウム

### 第 45 回日本医学放射線学会生物部会学術大会

#### 開催のご案内

#### 生物部会学術大会 演題募集のお知らせ

会員各位殿

謹啓 早春の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、「第 36 回放射線による制癌シンポジウム・第 45 回日本医学放射線学会生物部会学術大会」を平成 18 年 6 月 30 日（金）- 7 月 1 日（土）シティー弘前ホテル（青森県弘前市）において開催することとなりました。今回は弘前大学医学部放射線医学教室にてお世話させていただきます。開催のご案内とともに、第 45 回日本医学放射線学会生物部会学術大会の演題募集についてご案内申し上げます。

6 月 30 日（金）「第 36 回放射線による制癌シンポジウム」では、「放射線生物学が描く、照射技術を超える放射線治療戦略とは」を主題とし、1) 放射線による生物学的初期反応と修復—先行指標を求めて、2) 高精度放射線治療の生物学的考察と臨床の 2 つのテーマで構成致しました。魅力的なシンポジウムになるよう鋭意準備を進めているところであります。

7 月 1 日（土）「第 45 回日本医学放射線学会生物部会学術大会」では特にテーマは設けておりませんが、若手研究者の発表を重視しその育成を目指して演題を広く募集致します。また、ランチョンセミナーでは、東京大学医学部教授 宮園浩平先生による特別講演「TGF- $\beta$  シグナルの制御と線維症・がん」を予定しております。

今日、癌治療においては治癒率の向上と並んで QOL が益々重視されるようになっていきます。放射線治療の今後は、腫瘍対正常組織効果比をいかに高めるのかに係っております。このためには照射技術の革新だけでは限界があると思われれます。しかるに抗癌剤、分子標的薬剤、増感剤などとの併用を含めた生物学研究の進展が不可欠であり、生物部会の果たすべき役割は大きいと考えています。シンポジウムおよび部会学術大会の成功のため、皆様ふるってご参加賜りますれば幸いに存じます。

皆様のご参加をお待ちしております。

謹白

日本医学放射線学会生物部会部会長

京都大学原子炉実験所附属原子炉医療基礎研究所

小野 公二

第 36 回放射線による制癌シンポジウム 当番世話人

第 45 回日本医学放射線学会生物部会学術大会 大会長

弘前大学医学部放射線医学教室

阿部 由直

## <プログラム>

### 第36回制癌シンポジウム『放射線生物学が描く、照射技術を超える放射線治療戦略とは』

2006年6月30日（金）シティー弘前ホテル（弘前市）

シンポジウム1「放射線による生物学的初期反応と修復—先行指標を求めて」10：30-13：00

座長（窪田宣夫（茨城医療大）、晴山雅人（札幌医大））

1. DNA 2重鎖切断修復と初期反応（小松賢志（京都大））
2. 発癌、放射線感受性とDNA 2重鎖切断修復能（坂田耕一（札幌医大））
3. 低酸素細胞の修復能（古澤佳也（放医研））
4. DSB修復阻害と放射線増感（岡安隆一（放医研））
5. SNPs 解析による有害事象予測（大屋夏生（熊本大））

シンポジウム2「高精度放射線治療の生物学的考察と臨床」14：00-16：30

座長（芝本雄太（名市大）、松本英樹（福井大））

1. 遷延された治療コースは修復にどのような影響があるのか？
  - 1-1. 時間が修復に及ぼす影響の分子機構（細井義夫（東京大））
  - 1-2. 間歇的照射におけるElkind回復とReoxygenation（杉江愛夫（名市大））
2. 低LET線1回大線量照射による治療効果をどう考えるか？（白土博樹（北大））
3. 放射線障害はDVH関連パラメーター（物理情報）で予測可能か？（辻野佳世子（兵庫県立成人病センター））
4. 高精度放射線治療の現状と生物への期待（高井良尋（東北大））

特別発言 治療直前のCT撮影は放射線感受性を変えるか？（松本英樹（福井大））

生物部会幹事会：13：00—14：00

生物部会総会 16：30—17：00

懇親会 17：30—20：00

### 第45回日本医学放射線学会生物部会

2006年7月1日（土）シティー弘前ホテル（弘前市）9：00-16：00

一般演題公募（5月13日締切）

特別講演「TGF- $\beta$ シグナルの制御と線維症・がん」12：00-13：00

演者 宮園浩平先生（東京大）

<演題申込> 「第45回生物部会学術大会」一般演題を募集いたします。

発表時間：発表9分、討論3分

申込方法：「演題申込書」を5月13日（土）までにFAXでご返送下さい。

抄録提出方法：5月20日（土）までに、別紙「抄録作成要項」参照の上、E-mail（Wordファイル）送付の上、印刷原稿、FD（Wordファイル）をご郵送下さい。

## <参加費、懇親会費>

参加費：5,000円（単日参加であっても5,000円です。当日受付でお支払い下さい。）

懇親会費：5,000円（当日受付でお支払い下さい）

### <会場案内>

会 場： シティー弘前ホテル （青森県弘前市大町 1-1-2 TEL：0172-37-0109）

会場案内：<http://www.city-hirosaki.co.jp>

### <当番事務局連絡先>

〒036-8562 青森県弘前市在府町 5

第 36 回放射線による制癌シンポジウム/第 45 回生物部会学術大会 事務局

弘前大学医学部放射線医学教室 阿部 由直

TEL: 0172-39-5102/5103 FAX: 0172-33-5627

E-mail: [abe@cc.hirosaki-u.ac.jp](mailto:abe@cc.hirosaki-u.ac.jp) (一般問い合わせ先)

[radio-jm@med.hirosaki-u.ac.jp](mailto:radio-jm@med.hirosaki-u.ac.jp) (申込書・抄録送付先)